

LSFGと最新OCTを用いた 血流動態と形態変化

座長のことば

網膜血管は生体内で唯一直視が可能で、毛細血管レベルまで中枢神経系の微小循環を詳細に観察することができます。このため従来から眼底カメラや蛍光造影など用いられてきましたが、近年、血流を計測できる機器が臨床使用できるようになってきました。今回のセミナーではこの血流動態に焦点をあて、臨床で如何に活用できるかについて多くの症例をもとに解説していただく予定です。演者には、東北大学の志賀由己浩先生、北海道大学の齋藤航先生をお願いしております。従来、主に研究用として用いられてきましたが、今後の眼科診療に広く使用される可能性がある機器でもあります。これからの新しい眼科診療の一面をご紹介できるのではないかと考えておりますので、眼循環に興味をお持ちの先生だけでなく、眼科診療にたずさわる多くの先生方にもご参加いただけましたら幸いです。

座長
演者



Susumu Ishida

LSFGの臨床的有用性

石田 晋先生

北海道大学大学院
医学研究科眼科学分野 教授

演者



Yukihiko Shiga

緑内障における眼循環評価の 有用性と形態変化との関連

志賀 由己浩先生

東北大学大学院
医学系研究科眼科学分野大学院

演者



Wataru Saito

黄斑疾患の 眼循環と網脈絡膜形態

齋藤 航先生

北海道大学大学院医学研究科
眼循環代謝学講座 特任准教授